

1.概要

箕面市では平成27年4月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間140時間（週4時間）の外国語科（英語）に加えて、総合的な学習の時間から年間30時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に1時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境作りを行うことができています。特別の教育課程を実施することで、9年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境作りを行っています。

2.学校関係者からの意見

- ・基本的な表現であっても英語を使ってコミュニケーション活動をする事は、自然に表現が頭に入って慣れ親しみやすくなるので、良い方法だと思う。
- ・ネイティブの先生との交流機会を持つことで、英語でのコミュニケーション能力が上がると思う。
- ・学校で、どんな英語コミュニケーションの授業をしているか分からない。
- ・ALTの先生との時間をもっと有効活用し、個々のスピーキング能力が上がるような工夫をさらにしてほしい。

3.今後に向けて

- ・「英語コミュニケーションの授業内容が分からない」というご意見がありました。学校通信・学校ブログ・学年通信等での発信の必要性を感じました。
- ・「せっかくZOOMなどのオンライン環境が整っているので、英語圏の学生と通信するなど、生きた英語を活用する機会があればよいと思う。」という意見がありました。そういったご意見も参考に、英語コミュニケーションの授業時間で何をするか、再考したいと思います。